

# きずなの郷

第66号  
2021 夏

発行 社会福祉法人 厚生協会

令和3年8月1日

## 理事長就任に当たって



理事長 田中 雅之

この度、6月29日の理事会で理事長に就任いたしました。

就任にあたり、幹部職員に「4つの配り」について、お話をさせていただきました。

概要を記しますと、「目配り」、「心配り」、「手配り」、「気配り」、「心配り」、「手配り」、この4つの配りを常に念頭に置き、仕事の場面にも生かしていきましょうということです。

「目配り」とは、文字通り見えないところに目を配りましょう、という意味です。

「心配り」とは、心情を察して対応しましよう、ということです。相手が望む事を、相手が望む時に、相手の立場に立つてバランスよくのをタイミングよく提供する、ということです。

一つ一つをバラバラではなく、提供する側として、今この視点を改めて確認する必要があるのでは。この3年間厚生協会から離れてみる意味です。

福祉は支援を必要とする人がいて成り立ちます。福祉サービスを提供する側として、今この視点を改めて確認する必要があるのでは。この3年間厚生協会から離れてみて

て、この4つの配りを強く意識するようになりました。

私が生まれた昭和28年に厚生協会の活動がスタートしました。聴覚障害者の職業訓練を目的にした、わかふじ寮が全国で初の収容委託施設として国の認可を受けたのが厚生協会の原点です。田村政雄初代理事長の土地や建物の提供を受け、藤川マキエ先生と（父）田中岐一両氏の福祉にかける熱い思いが歴代の役員・職員に脈々と受け継がれ今日の姿となっています。

当時の私達一家は、施設の屋根裏を改修して生活していました。6畳ほどの居間とその奥が父母の寝室、私と弟の部屋はベニヤ板で仕切られ窓は無かつたように記憶しています。食事は利用者と同じものを食べていましたが、お盆やお正月に帰省できない利用者と普段より少しだけ豪華なご馳走を子供心にワクワクしながら皆一緒に楽しく食事をしたことも、懐かしく思い出されます。

厚生協会では、4年前に作成した中長期計画に基づき法人運営を進めて参りますが、新たな課題や皆様のお声をお聞きし乍ら地域に信頼される法人となるよう努めていく所存です。今後とも、厚生協会をよろしくお願い致します。

田中岐一、山本実氏、佐々木忠利氏そして鈴木政輝氏と4代に亘りお仕えしてきました。どなたも指導力があり、心優しい方でとても楽しい思い出ばかりです。

現在、法人内の施設・事業所をお持ちの方やご高齢の方々が安心・安全に日常生活を送られる施設が複数あり、併せて日帰りサロンや訪問介護、居宅介護など地域のお住いの方を対象にした福祉事業も幅広く行っています。

お一人お一人の人生の中で、縁あつて当法人が絆を紡む事をさせていただけますこと、大変ありがとうございます。がたく心より感謝しています。

利用者の皆様が安心して楽しく、普通に過ごせるよう職員は額に汗して懸命に働いています。

質の高いサービス提供を常に意識し日々取り組んでいますが、昨年末の新型コロナウイルスによる集団感染が法人内で発生し、施設・事業所を利用される皆様に大変なご不便とご心配をおかけしましたこと、改めて深くお詫び申し上げます。

評議員	(令和3年6月29日定時評議員会から令和6年度会計に関する定期評議員会終結時まで)
常務理事	桑原 隆俊
筆頭理事	川崎 勉
理事長(新)	田中 雅之
理 事	藤原 正志
理 事	千葉 照映
理 事	畠中 実和
監 事	山内ゆかり
理 事(新)	飯田 泰雅
理 事	堀内 克泰
監 事	又原 一

## 今期の役員・評議員

役員  
(令和3年6月29日定時評議員会から令和4年度会計に関する定期評議員会終結時まで)

### 法人の基本理念

- (1) 人間の尊厳を守る。
- (2) 基本的人権を尊重する。
- (3) 利用者の自立を支援する。

## 令和2年度 法人本部及び各施設・事業所の事業報告

### ■法人本部

令和2年度は働き方改革関連法案の施行に伴い、同一労働同一賃金の対応に合わせて給与規定の改正を行い、パートタイマーや有期雇用者の待遇改善を図った。又、労働施策総合推進法の改正に伴い、ハラスメント防止規程の制定を行った。

新型コロナウイルスに係わる対策としては、厚労省からの通知に沿って感染予防の徹底、感染経路の遮断の観点から面会の自粛要請、対応備品の確保、施設内で発症者が出した場合の対応マニュアルの整備などを行った。

ひまわり荘におけるクラスター発生時に於いては、合同対策会議において対応策の検討を図り、日々変化する施設内の感染対応や各関係機関との連絡調整、応援職員の派遣、支援する職員の待遇対応、各種制度の活用など早期収束に向けた対策を講じた。

法人の施設整備等の事業については「中・長期計画」に沿って実施した。

又、三法人連絡協議会の定例会については、コロナ禍の状況から休止となった。

このような状況の中、法人全体で経費削減に取り組むと共に、利用者サービスの向上と運営の安定に向け事業計画に基づき以下の事業を実施した。

理事会開催（5回）、監事監査（4回）、評議員会開催（2回）、役員研修（1回）、顧問契約（松浦弁護士）、監査契約（富士道公認会計士）、本部各専門委員会（管理部、施設・在宅事業部、研修部）

### ■わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

利用者への支援については、個別支援計画に基づき定期的なモニタリングで支援内容の見直しを行った。

利用者の高齢化や障害の重度化への対応については、支援の状況の現状把握を行い、ケース会議などで作業面、生活面における情報を共有し支援を行った。

定員充足に向けた取り組みについては、行政機関を訪問し利用希望者の情報収集や、高等支援学校、相談支援事業所等と連携を図り、実習の受け入れなどを行い新規利用者の獲得に努めた。

新得高等支援学校との連携については、年間を通して現場実習、校外作業学習の受け入れを行った。又木育推進事業の誕生祝い品贈呈でも連携を図った。

施設整備に関しては、改正健康増進法施行に伴い分煙室の整備を行った。又新型コロナウイルス感染対策については、補助金を活用し手洗いの自動水栓への交換などの整備を行った。

#### ①介護・生活支援部門

高齢化による利用者の身体・精神状況の変化を確認し、支援内容について検討し、作業場の変更、保護帽、歩行器等の利用などの対応を行った。

#### ②看護部門

今年度はコロナウイルスの感染防止から夏季もうがい、手洗いを継続した。通所利用者については外出時の注意点や消毒薬・マスクの配布を実施し予防に努めた。

#### ③授産事業部門

今年度はコロナウイルスの影響を受け目標額に届かない事業もあったが、売上げ確保や利益向上を目標に取り組んだ結果、家具部門において近年ない大口受注があり、売上増に繋げる事ができることで、全体の目標額を大幅に達成する事が出来た。

利用者の高齢化に対する作業内容を検討する取り組みについては、利用者個々の作業能力にあった作業配置や作業環境等の変更を行なうことは出来たが、作業内容を十分に検討するまでには至らなかった。

今後も安定した生産に繋がる作業工程等の見直しと事業全体の連携に努めると共に、状況に合わせた各事業における職員・利用者の配置見直しに取り組んでいく。

### ■わかふじ寮相談支援事業所

コロナ禍により対面での面会は自粛し、事業所よりご本人の状況などの情報収集を行い、ご本人の意向や希望、要望を確認しながら必要と思われる事柄について助言を行った。

又サービス等利用計画案の作成については利用者の状況や事業所での支援状況を基に見直しを行った。

### ■共同生活援助事業所 さくら

利用者への支援については、個別支援計画に基づき地域で落ち着いて生活ができる様に、「地域生活上のルール」や身の周りの事などを自立した生活を送る事ができる様に支援を行った。

食生活については家庭的で偏りのない食事を提供する事を基本とし、利用者の嗜好や季節に合った献立で提供できる様に対応した。

新型コロナウイルス感染対策については、マスクの着用や手指消毒など基本的な対応の徹底を図った。

### ■新得白生舎

社会福祉法による授産施設として利用者一人ひとりの能力に応じた作業が行えるよう取り組んだ。また、怪我・事故等に充分配慮しながら生産性・品質等を向上させると共に顧客満足度アップへつながるサービスの提供を行った。

### ■聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

老人福祉法及び関係法令並びに諸通知に基づき、利用者の自立支援のためのソーシャルワーク機能を強化し、利用者の生活意欲の増進等を図り、生きがいを持ち健全世界で安らかな生活ができるよう努めた。

個別型として、利用者一人ひとりの心身状態を考慮しニーズに応じた介護保険サービスの提供に努めた。

手話の普及と聴覚障害者養護老人ホームとしての役割については、手話条例推進会議に所属している職員を手話講座の講師として小学校に派遣した。

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、利用者の社会参加の促進や地域貢献並びに施設のアピールは十分に行えなかつたが、家族や各関係機関と連携を図り、利用者の多様性に沿った伴走型の支援に努めた。

ひまわり荘において長年にわたる多数の待機解消を図るため、町と連携し、緊急性が高い方の受け入れを行った。また、養護老人ホームにおける契約入所についての情報を全国老人福祉施設協議会より収集した。

#### ①介護・生活支援部門

個別型として効率的なサービスを提供した。また、毎月支援員ミーティングやケア検討会議を開催し、サービスの適正を図った。

#### ②看護部門

常に利用者の状態を把握し、異変時は嘱託医へ報告し指示を仰いだ。

### ■特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を重点的に行い、感染対応時のマニュアル作成や必要物品の準備、補充を徹底した。法人内のクラスター発生時に職員の派遣及び十老施設からの応援職員の受け入れを行い、サービスの提供を行った。入所・短期入所の受け入れについても、1月、2月は空床が常態化してしまい減収となつた。

コロナ感染予防対策でクラブ活動や併設施設との合同行事を自粛し、さらに、長寿の祝、誕生会などは規模を縮小し行つた。

利用待機者が減少している状況もあり、市町村や居宅介護事業所などの関係機関と連携を図り、情報を共有し新規利用者の確保に努め、3月以降はPCR検査を必須として入所までの日数を短期間にし早期に入所できるようにした。

#### ①介護・生活支援部門

利用者や家族の意向を計画に取り入れ、状態に合わせて計画を変更し、各利用者のニーズや状態に合った個別支援計画の作成に取り組んだ。

#### ②看護部門

適宜状態観察バイタルチェックを行い、バイタルリンクを活用し医師と看護師の連携を強化した。必要に応じて医療機関の受診対応を行つた。

### ■地域密着型特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を重点的に行い、感染対応時のマニュアル作成や必要物品の準備、補充を徹底した。

コロナ感染予防対策でクラブ活動や併設施設との合同行事は自粛し、さらに、長寿の祝、誕生会などは規模を縮小し行つた。また、家族との面会ができるようオンライン面会、窓越し面会を取り組み家族から好評を得た。

入所利用者確保に向け在宅関係の事業所と情報を共有し利用者の確保に努めた。

## ①介護・生活支援部門

ユニットでの少人数のケアを実践し、モニタリングを実施、適宜ケアプランを見直しケアプランに基づいたサービスの提供に努めた。

## ②看護部門

夜間のオシコール体制を継続した。緊急時に速やかに対応すると共に、各部門との連携を密に行った。

## ■訪問介護事業所 新得やすらぎ荘

### ①高齢者訪問介護事業

利用者の望む在宅生活が出来るように必要な援助を相談し、利用者が利用しやすい訪問事業所となるように努めた。また、自立支援・介護予防の視点で日々の介護サービスを行う事が出来た。世界的なパンデミックとなった新型コロナウィルス感染拡大の影響で利用者の減少がみられたが、事業所の一時的移転や感染症対策の徹底などを行なながら安全にサービス提供を継続する事ができた。

### ②障害居宅介護事業

自立支援の視点に立ちつつ利用者本位のサービスに努め、対象の障害者だけではなくその家族とのかかわりへの配慮を含めた気配りも行なった。

## ■居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘

利用者の自立支援、状態の悪化防止のために、利用者と家族の意向を尊重しながら、専門職としての総合的なケアマネジメントを行い、ケアプランの作成、各サービス事業所等の連携を図り、適切なサービスが提供されるよう調整を行った。

新得町（地域包括支援センター）及び他の居宅介護支援事業所、関係施設等の連携を継続的に図ることで、当事業所への利用者の受け入れだけでなく、関連する法人内事業所への新規利用者の紹介も継続して務めた。

その一方、コロナ禍の影響で、11月～2月の期間、各介護サービス事業所の利用にあたり一部制限が生じたことにより、在宅での生活が困難となり、町内外の施設に入所せざるを得ない状況になる等、前年度と比較し、利用者数の減少にも繋がった。

## ■日帰りサービスセンター やすらぎ荘

利用者が可能な限り居宅において自立した日常生活を継続できるよう、入浴および食事の提供、利用者が選択することのできる余暇活動の実施や生活動作に関連する機能訓練を実施した。

また、健康状態の確認やその他必要な日常生活の支援を行い、利用者の健全で安定した自宅での生活の助長、社会的孤立の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、利用者家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

## ■清水デイサービスセンター やすらぎ荘

地域で在宅生活が継続できるよう、心身機能訓練から生活行為力向上訓練までの総合的な支援を検討し、在宅での生活状況や興味・関心のあること等把握した上で、適切なリハビリテーションを提供するために、職員が共同してリハビリの計画・実施・評価を行った。

また、週替わりで行う訓練は楽しみながら行えるよう配慮し、理学療法士による個別訓練は、利用者の身体状況に合わせ内容を変更し、充実を図った。

## ■日帰りサービスセンター やすらぎ荘 たんぽぽ

能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、生活などに関する相談及び助言、健康状態の確認その他必要な日常生活上の支援、機能訓練などのサービス提供を行った。また、安定した生活の促進、心身機能の維持向上を行った。

## ■屈足わかふじ園

法人の基本理念及び職員倫理綱領、行動規範を遵守、利用者の自立と人権の尊重を基本に、サービスの充実を図るように努めた。

利用者への支援については、個別支援計画に基づき、利用者個々のニーズに応じた支援を実施し、定期的にモニタリングを行う事で支援内容の見直しや確認を行った。

イベント各種について、きずなの郷まつりは新型コロナウイルスの影響もあり、地域の方や家族を呼ばずに利用者と職員のみで規模を縮小して行った。また例年家族を呼んで行っていた花見食事会や秋の味覚祭なども、感染防止の主旨を文書で発送し、これらも利用者と職員のみで行った。外部からの慰問関係もほとんどを中止にしたが、大相撲の優勝予想や黒ひげ危機一髪大会、町内の飲食店から食事をティアアウトするなどの企画を実施し、利用者に楽しんでもらえる様に努めた。

食事面については、各棟別にデザートバイキングを利用者の好みや嚥下に配慮して実施し、毎月「お弁当の日」を取り入れるなどして、変化のある給食を提供した。

施設整備に関して、開所後20年を経過していることに伴い、屋上防水・外壁改修工事を全面的に行い整備した。

### ①施設入所・生活介護

個別支援計画の支援内容を基に、利用者のニーズをその都度各部署と共有し、サービスの提供を行った。

### ②医療部門

介護員と連携して利用者の状態の把握に努めた。状態に変化があった際には、バイタルリンクを活用するなどし、速やかに嘱託医に報告をし、指示を仰いだ。

新型コロナウイルス感染防止対策を中心に手洗い・手指消毒の徹底や、施設内の消毒を継続した。

## ■養護老人ホーム ひまわり荘

老人福祉法、介護保険法及び関係法令を遵守し、利用者の主体性と自立支援に配慮した介護サービス計画書並びに個別支援計画書を作成した。利用者の計画書に沿ったサービス提供に努め、必要時には関係機関や医療機関との連携を図り、より充実したサービスを提供するように努めた。

新型コロナウイルスまん延防止のため、利用者の意向に沿った充分な社会参加や地域交流等が出来なかつたが、クラブ活動の内容を工夫して可能な範囲での余暇活動の機会を提供した。

経費削減の取り組みとしては、冬季間に施設内の温度管理を徹底し、暖房費の節減を図った。

新型コロナウイルスのクラスター発生については、合同対策会議にて日々変化する施設内の感染状況を報告し、施設内のゾーニング、利用者の健康管理、消毒、職員の感染対策、体調不良者に対するPCR検査の実施、医療機関の入院調整など状況に応じた対応策を検討し実施した。期間中、陽性者は利用者12名、職員4名、合計16名となつた。人的支援としては医療機関から医師のバックアップ支援、感染症認定看護師の派遣や法人内の各事業所から応援職員の派遣などを受け対応を行つた。1月9日以降、2週間に新たな感染者が発生しなかつた事から、令和3年1月26日にクラスター収束となつた。（36日間）

### ①介護・生活支援部門

利用者の身体及び日常生活動作の状態を適宜確認し、利用者個々に合わせた個別援助を重視した上で、各種会議で検討して利用者が意欲的に自立促進に向けた生活が送れるような取り組みを行つた。

### ②看護部門

6月まで毎週水曜日（午後）、嘱託医の往診にて健康チェック及び診察を受けた。

7月からの往診は新型コロナウイルスまん延防止のため、中止し必要時に、リモートにて診察を受けた。病状に応じて嘱託医の指示のもと、諸検査を実施した。

## ■訪問介護事業所 ひまわり荘

介護保険法令を遵守し、特定施設サービス計画書を基に利用者の生活環境、能力に応じた訪問介護計画書を作成し、利用者が有する能力に応じた日常生活を営む事ができるようサービス提供を行つた。特定施設や他のサービス提供事業所と連携を密に取り合い、サービス内容の変更があった際は迅速に対応した。また、利用者の生活能力の維持・向上につながるサービス提供や事故防止に努めた。

その他、養護老人ホームひまわり荘で新型コロナウイルス感染症施設クラスターが発生したため、1月のサービス提供が行えず収入減となつた。

## 令和2年度決算報告

令和3年3月31日

## 財産目録

(単位：円)

資産の部		
科 目	摘 要	金 額
流動資産		976, 962, 302
固定資産		5, 377, 514, 963
資産合計		6, 354, 477, 265
負債の部		
科 目	摘 要	金 額
流动負債		53, 637, 380
固定負債		324, 199, 593
負債合計		477, 836, 973
差引正味資産		5, 876, 640, 292

## 貸 借 対 照 表

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流动資産	976, 962, 302	流动負債	153, 637, 380
固定資産	5, 377, 514, 963	固定負債	324, 199, 593
		基本金	14, 500, 000
		国庫補助金等特別積立金	3, 110, 046, 420
		その他の積立金	831, 358, 550
資産合計	6, 354, 477, 265	次期繰越活動収支差額	1, 920, 735, 322
		負債純資産合計	6, 354, 477, 265

## 事業活動収支計算書

科 目	金 額
介護保険事業収益	510, 749, 020
老人福祉事業収益	286, 219, 435
就労支援事業収益	244, 160, 890
障害福祉サービス等事業収益	722, 810, 375
生活保護事業収益	18, 712, 490
その他の事業収益	22, 704, 600
経常経費寄附金収益	12, 896, 666
受取利息配当金収益	84, 647
その他のサービス活動外収益	36, 448, 353
その他の収益	56, 682, 400
収入合計	1, 911, 468, 876
人件費	1, 047, 625, 870
事業費	277, 392, 338
事務費	349, 180, 414
就労支援事業費用	216, 306, 662
利用者負担軽減額	2, 175, 889
減価償却費	164, 900, 133
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 108, 544, 664
徴収不能引当金繰入	1, 084, 000
支払利息	749, 535
固定資産売却損・処分損	122
国庫補助金等特別積立金積立額	8, 170, 790
支出合計	1, 959, 041, 089
当期活動増減差額	△ 47, 572, 213
前期繰越活動収支差額	1, 873, 907, 535
その他の積立金取崩額	159, 800, 000
その他の積立金積立額	65, 400, 000
次期繰越活動増減差額	1, 920, 735, 322

## 資金収支計算書

科 目	金 額
介護保険事業収入	510, 749, 020
老人福祉事業収入	286, 219, 435
就労支援事業収入	244, 160, 890
障害福祉サービス等事業収入	722, 810, 375
生活保護事業収入	18, 712, 490
その他の事業収入	34, 824, 000
経常経費寄附金収入	12, 900, 538
受取利息配当金収入	80, 775
その他の収入	36, 448, 353
積立資産取崩収入	159, 800, 000
収入合計	2, 026, 705, 876
人件費支出	999, 792, 870
事業費支出	277, 392, 338
事務費支出	348, 954, 914
就労支援事業支出	213, 024, 881
利用者負担軽減額	2, 175, 889
支払利息支出	749, 535
設備資金借入金元金償還支出	19, 544, 000
固定資産取得支出	8, 840, 380
ファイナンスリース債務の返済支出	3, 166, 380
積立資産支出	65, 400, 000
支出合計	1, 939, 041, 187
当期資金収支差額	87, 664, 689
前期末支払資金残高	778, 570, 173
当期末支払資金残高	866, 234, 862

## 新得白生舎開所60周年記念 ～地域とともに生きる～

6月9日に新得白生舎が開所60周年記念を迎えることができました。昭和36年に前身であります新得町母子会が授産施設として開設して以来、幾多の困難を乗り越えながら、現在は多くの町民の皆様に親しんでいただける店舗となりました。

今後ともより一層、皆様に愛されるクリーニング店として営業してまいります。皆様のご来店を心よりお待ちいたしております。



▲全員で記念写真



昭和36年6月9日 開業

▲開所当時の建物



▲昭和57年当時の建物



▲配達積み込みと車両



▲縫製部門での作業

## 厚生協会がクリーニング継承

就労支援事業の新得白生舎

【新得】クリーニング事業で1人親や障害者の生活困窮者の就労自立支援を行ってきた社会福祉法人新得白生舎（新得町）が、売り上げ減で行き詰まり、別の社会福祉法人の厚生協会（同）が、吸収合併して事業を引き継ぐことになった。厚生協会は新得町に対し、老朽化した施設建て替えへの支援を要請、費用約1億3千万元のうち、町は国や道と合わせ、8割以上を補助する方針だ。

新得白生舎は、1961年に新得町母子会から受けた受注が減り、年間売り上げは最盛期の半分の2千万元前後に落ち込み、赤字が続いている。コスト削減を進めたが改善せず、愛産所利用者11人、職員3人の雇用継続のため今年3月、厚生協会は、クリーニング施設の老朽化

▲平成24年12月12日 道新より

## 交通安全大会を実施 ～各施設でビデオ上映～

6月16日、わかふじ寮に新得警察署交通安全課川成交通課長をお招きして、交通安全大会を実施しました。例年は法人の全職員が集まり実施していましたが、新型コロナウイルスまん延防止のため、今年度はわかふじ寮で行われた大会の様子を撮影し、各施設でビデオを視聴する形式で行いました。

外出自粛の世の中ではありますが、それでも車を運転する機会は多くあり、交通事故防止により一層の努力が必要と改めて感じました。

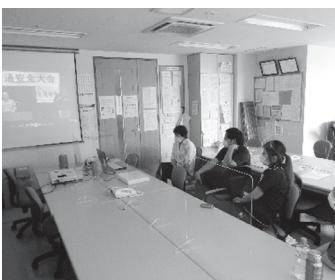


▲交通安全宣言



▲川成交通課長からの講話

### 【屈足わかふじ園】



### 【やすらぎ荘・新得やすらぎ荘】



### 【ひまわり荘】



各施設でのビデオ視聴の様子・皆さん真剣に聴いています

## 新型コロナワクチン接種

4月末から新得町においても待望の新型コロナワクチン接種が65歳以上の方々から始まりました。

法人各施設でも65歳以上の利用者と全職員の接種を5月12日から始まり6月28日までに終えました。副反応については報道等にあるような一部利用者や職員に、だるさや発熱等はありましたがあまりましたが1日～2日位で回復していました。

この後、64歳以下の利用者の接種を7月5日から8月2日に予定しています。

### 【わかふじ寮】



▲ワクチン接種の様子

### 【やすらぎ荘・新得やすらぎ荘】



▲食堂で接種

### 【屈足わかふじ園】



▲具合が悪くなった時の備えも万全



▲皆さん少し緊張気味

## やすらぎ荘

## オンライン面会、窓越し面会 ～感染対策を徹底し行っています～

法人内各施設では、新型コロナウイルスの影響でご家族との面会の自粛をお願いしております。

やすらぎ荘では、オンライン面会または感染対策をして窓越し面会を行っています。利用者の皆さんは施設でも楽しく過ごされていますが、家族の顔を見るととても嬉しそうに話されています。

オンライン面会は、屈足わかふじ園やひまわり荘等各施設でも行っています。新型コロナウイルスが一刻も早く収束し、制限なく利用者が楽しく面会できることを願っています。



▲家族の声、顔が久し振りに見えて嬉しそうですね

## 屈足わかふじ園

## おうちチャレンジデー ～みんなで楽しく体操!～

「チャレンジデー」とは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている、住民参加型のスポーツイベントです。今年は、新型コロナウイルスの感染状況の見通しが立たないことから、このイベントが10月27日に延期されることとなりました。

さて、5月26日は、その5月最終水曜日に当たる日でしたが、今年は家の中で運動をしましょうと言う、「おうちチャレンジデー（略して「うちチャレ」）」が開催されるということで、屈足わかふじ園もこのイベントに参加しました。

当日は利用者様と職員がラジオ体操などを行い、映像や音楽に合わせながら楽しく身体を動かしました。利用者様からは「いい運動になつた」「ちょっと疲れたけど楽しかった」などの感想をいただきました。

10月27日の「チャレンジデー」も、また皆さんで一緒に楽しく参加したいと思います。



▲イチ、ニー、サン、シー！



▲みんなバラバラ!?  
……だけど楽しい!

## わかふじ寮

## わかふじパン工房 出張販売しています。 ～コロナに負けずに販路拡大～

わかふじパン工房では利用者が作った焼きたてのパンを毎日店舗で販売しており、町内のお祭りやスポーツ大会等のイベント時は出張販売も行っていました。しかし、昨年から世界中に感染拡大した新型コロナウイルスの影響により、各種イベントは軒並み中止となり、例年90万円程あったイベント売上げの見込みが立たなくなりました。

そこで、以前から少しずつ行っていた出張販売を、多くの関係機関のご協力により販路を拡大して販売を行いました。一部、コロナ禍の影響で出張販売の中止を余儀なくされた場所もありましたが、おかげさまで昨年度は中止となつたイベント販売の売上げも補う事ができ、売り上げ目標を上回る事ができました。出張販売のご協力を頂きました各関係機関の皆様には、この場をお借りしてお礼申し上げます。

パンの出張販売のご要望がございましたら、わかふじ寮までご相談ください。逆境を「ピンチをチャンスに」の精神で乗り越えていきたいと思っています。

## 出張販売先

新得町役場、新得郵便局、関木材工業、北広牧場、シントクアユミルク、鹿追町役場地域密着型特養ひろね、清水赤十字病院、日本甜菜製糖、社会福祉法人更葉園、障害者支援施設 晩成学園、帯広大谷短期大学、十勝総合振興局※順不同、敬称略、コロナ禍の影響により出張販売を中断した機関を含む。



▲清水赤十字病院では、毎回職員さんや外来の患者さんにも購入いただいています。



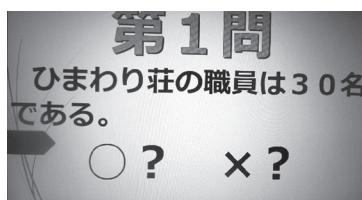
▲新得郵便局では毎週水・木曜日に無人販売をしています。

## ひまわり荘

## お楽しみ会 ～○×クイズとスライドショーを実施～

6月25日、食堂でお楽しみ会を行いました。6月に予定していた『家族との集い』が新型コロナウイルスまん延防止のため中止となり、少しでも利用者に楽しんでもらおうと企画しました。

余興はひまわり荘に関する○×クイズ、令和2年度を振り返るスライドショーを行いました。○×クイズは皆さん、真剣で「知らない事多かったわ」と話されていた方もいました。



▲ひまわり荘○×クイズ！



▲クイズで景品ゲット！

# ご寄付・ご寄贈ありがとうございました

令和3年3月から  
令和3年6月まで(敬称略)

## 【本 部】

新得町 梶本 雅夫  
高杉 正俊  
春木 俊雄  
北條 和彦  
月井 克実  
金田 和子  
小坂 誠喜  
國枝 正博  
小川 道弘  
唄崎 久子  
清水 栄一  
帯広市 若原 公廣  
福田 實  
保苅 敬一  
清水町 謙山 隆史  
音更町 後藤 弘晃  
土幌町 松井 榮子  
釧路町 佐々木信子  
小樽市 金子 和令  
札幌市 吉川 照一  
宮城県多賀城市 大場 正直  
神奈川県藤沢市 藤原 敏勝  
山口県柳井市 浜田 英之

## 【わかふじ寮】

新得町 川崎 勉  
山口 憲夫  
尾名 秋雄  
小樽市 金子 和令  
登別市 藤沢 英明  
江別市 奥田 隆博  
津別町 沼岡さとみ  
新得町 新得女性の会  
カール美容室  
鈴木 洋子  
梶本 雅夫  
春木 俊雄  
北条 和彦  
清水 栄一  
村瀬イツ子  
高橋 正廣  
芽室町 甲山ちえみ  
帯広市 若原 公廣  
友西ふさ子  
札幌市 表 和子

## 旭川市 小野寺雅彦

石狩市 石狩市役所保健福祉部地域包括ケア課

## 【屈足わかふじ園】

新得町 高橋 和子  
金元 義行  
浦幌町 林 幸子  
池田町 小川 義成  
音更町 大倉 盛男  
清水町 今滝 貴行

## 【ひまわり荘】

帯広市 扇 悅子

札幌市 神成 裕二  
吉川 照一  
大江 啓二  
大江 灌也  
苦小牧市 佐藤シゲ子

## 【やすらぎ荘】

新得町 大崎 道春  
友定 幸子  
泉 ハルヨ  
西道  
清野 美幸

## 武田 直幸

高杉 正俊  
月井 克実  
國枝 正博  
唄崎 久子  
清水町 新國 昭男  
諫山 隆史  
音更町 後藤 弘晃  
恩田ひろみ  
帯広市 天地 紀子  
群馬県安中市 樽見 郁子

## 【地域新得やすらぎ荘】

新得町 児玉 武  
小坂 誠喜  
児玉 年正  
滝口 文子  
金田 和子  
小川 道弘  
帯広市 大場 正信  
宮城県多賀城市 大場 正直  
東京都小平市 小坂 享

社会福祉法人厚生協会では、法人各施設の様子や情報をホームページやブログで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けています。

### 厚生協会ホームページ

<http://www.wakafuji.or.jp>

### ブログ「わかふじ寮歳時記」

<http://biog.canpan.info/wakafuji>

### ブログ「やすらぎ荘ブログ」

<http://blog.canpan.info/yasuragi-so/>

### ブログ「屈足わかふじ園日記」

<http://blog.canpan.info/wakafujienn/>

### ブログ「ひまわり荘Diary」

<http://blog.canpan.info/48-himawari/>

### 厚生協会E-mailアドレス

wakafuji@netbeet.ne.jp (わかふじ寮)

yasuragi@rainbow.ne.jp (やすらぎ荘)

wakafuji@rose.ocn.ne.jp (屈足わかふじ園)

himawari@bb.rainbow.ne.jp (ひまわり荘)

ssh5209@kha.ki.plala.or.jp (新得白生舎)

## 編 集 後 記

広報誌66号の編集を行っている中で東京オリンピックの開催等、何かと話題がつきないと感じます。そんな中、当法人でも役員の改選や新得白生舎60周年等、節目を迎へ、法人の理念を振り返り、基本に戻って利用者の皆様の支援を行っていきたいと思いました。

この広報誌の中で使用させていただいている利用者の顔写真等は、すべてご本人の了承をいただき、掲載しています。



わかふじ

## パン工房わかふじ からのお知らせ



十勝産の小麦「キタノカオリ」を使用したパンを約40種類焼いています。

今回は、当店のオススメをご紹介します!!

### <8月新商品>

#### ◇ミニ塩バター(3個入)

162円(税抜き150円)



外はカリッと中はふんわりした食事パンです。グランドの塩を少しふりかけ丁度良い塩加減となっています。店舗・外販でも一番売れている塩パンが一口サイズになりました。

<営業時間>11:00~18:00 <定休日> 日・月曜日・祝祭日

住所: 北海道上川郡新得町西3条南1丁目

電話番号: 0156-64-5133(加藤・小針)

### 農家のやさい直売所～山田農場～

今年もパン工房わかふじの外のログハウスで、山田農場で育てた新鮮な野菜が直売されています。店内にはニラやキャベツなど約30種類の新鮮野菜の他、宇井農場の「新内そば」や裕蜂の里のブルーベリー、石橋農場の原木栽培しいたけなども並んでいます。ぜひ、パン工房わかふじにお立ち寄りの際は新鮮な野菜もお買い求め下さい。



<営業日>

火・木・土曜の午前11時~午後1時に営業(売り切れ次第終了) 10月下旬まで